

第4回「市長と話そうまち育てタウンミーティング」について（全体版）

- 1 日 時 平成26年6月30日（月）午前10時30分～11時20分
- 2 場 所 北上市生涯学習センター
- 3 参加者 草楓流北上支部 小澤 貴楓さん、菅原 竹楓さん、及川 幻楓さん
- 4 市出席者 市長、八重樫生涯学習文化課長
（事務局）及川広聴広報課長、同課 高橋課長補佐、石田主任
- 5 懇談内容

市 長：草楓流の皆さんには今までの大きなイベントでおもてなしを演出いただきありがとうございます。日頃の活動でお気づきの点を忌憚なく発言いただき、今後の政策づくりに生かしていきたいと思います。

報告ですが、昨日は国立競技場のイス運びに北上から630人ボランティアを募り参加してきました。この市民の皆さんのパワーは市民活動につながるものだろうと感激を受けました。本日の意見交換も皆さんの活動の一助となれば幸いです。

小澤さん：本日は私のほかに花道歴30年と10年の2名が出席します。私たちはドライフラワーなどの加工物を使わず、自然のものを使って活かしています。その方がより自分の思いを吹き込めるように思えるからですが、こういう流派もあることを市長にも知ってほしく、またせつかく市長とお話できる機会があるので申し込んでみました。

これまで生涯学習センター主催の遊・YOU学園祭やJR北上駅の構内などで作品を展示してきました。会員数は一番多い時は30人くらいでしたが、現在は10人くらいです。若い会員たちは転勤などがあり、長く続けるのが難しいようですね。

市 長：最近雇用形態も変わってきており、なかなか余裕も少なくなっているのかもしれない。

小澤さん：また若い人たちには数か月とか比較的短い期間で習得できるフラワーアレンジメントが人気のようです。私たちは何十年かけて学んでいきます。単に生け花の上手下手ではなく、心や材料の想いを受け止めて作り上げて



ゆくので同じ材料を使っても出来上がる作品は人によって異なります。個性が出るのでしょう。私は何十年やっていますが心から満足できる作品というのはありません。もっと若い方にも生け花という日本の伝統を学んでいただきたいと思いますが。

市 長：ぜひこれからも続けていただきたいと思います。さくらホールスタジオなどガラス張りの場所で練習風景を公開してみてもどうですか。どんなことをやっているのか他の方には意外と知られていないものです。さくらホールは学生が勉強で集まっていたりしますよ。アトリエは本来そうやってオープンに活動してもらおうための場所です。

及川さん：フラダンスとかいろんな活動をしていますよね。

市 長：そうですね。例えば、いすを並べて見学自由とかにしておけば、やってみようかなという人たちが出てくるのでは。定年を迎えてこれから趣味を探している人が増えています。最近は登山などが人気のようですが。

八重樫生涯文化課長：生涯学習センターのホールでも四季折々の展示を行っていきまして、今日も七夕に向けて笹竹を運んできたところです。講習会の後に作品を展示してはどうでしょうか。またこのビルの1階にギャラリーができたので、そこで展示会を開いてはどうですか。ほかにもアジアマスターズに向けた外国人へのおもてなしとして民俗村で展示してもよいかと思います。

市 長：8月は韓国や中国の高校生たちが集まる「日中韓アジアスポーツ大会」、9月はアジアマスターズ陸上が開催され、アジアの皆さんが北上にいらっしゃるので、なんらかの形で生け花をお見せできれば面白いと思います。外国の観光客は完成したものよりも製作の過程に興味を持ってもらえるようですね。

小澤さん：日頃お稽古をしていると、「なんて上手に活けたんだろう」という作品が



40周年記念花展
平成22年みちのく民俗村

できて、埋もれさせるのがもったいないと感じることがありますので。
八重樫生涯学習文化課長：ではぜひ展示しませんか。社会教育団体にも加盟されて
いることだし。

小澤さん：ありがとうございます。

【追記】

7月の研究会終了後7月14日から16日まで生涯学習センターで作品を展
示していただきました。今後も展示していただきますので、ぜひ生涯学習
センターにいらした際はご覧になってください

